



11月2日（土）に、三崎小キッズ発表会が開催されました。私は、前日の1日（金）のリハーサルに伺いました。テーマは「海」～一つにつながる三崎っ子～でした。

1年生は、「うみのいきものクイズ」を、ハモニカを演奏しながら出題していました。

2年生は、魚やクラゲなどに扮しました。ウミウシは、ワカメなどに書いた手紙を配達する重要な役目でした。

3年生は、リコーダー担当でした。それぞれの場面で、一生懸命に吹いて、ステージを盛り上げました。

4年生は、三崎ソーラン。オリジナルの歌詞をつくり、迫力ある踊りを見せてくれました。



5年生は、ダンシングヒーローのメロディーに乗って、カッコよく踊りました。浦島太郎や乙姫様にも扮して、会場を盛り上げていました。

6年生は、中心になって会を進行していきました。最上級生らしく、マグロ漁や赤潮・青潮などについてくわしく発表し、魚の減少や海洋プラゴミなどにも触れました。

海洋教育写真コンテスト入賞作品の紹介その2

海の生き物部門の優秀賞、南下浦中学校1年生の江波戸柚妃（えばとゆずき）さんの作品です。タイトルは「ようやく見つけた、マンジュウガニ！」

粘り強く探し続けた努力と、「撮りたい」という気持ちが表れたワンショットです。スベスベマンジュウガニの存在感が画面一杯にあふれています。カニへしっかり近寄って撮影したことで、迫力のある構図になっています。



同じく優秀賞、初声中学校3年生の青木諒（あおきりょう）さんの作品です。タイトルは「タイの家族」。

初めての釣りで、いろいろなタイが釣れて、とてもうれしい気持ちが写真から伝わってきました。毎年9月に、市内の小学生が、小網代湾からタイの放流を行っています。もしかしたら、大きくなって、三浦に帰ってきたのかもしれない。



特別賞を獲得した剣崎小学校3年生の熊谷海斗（くまがいかいと）さんの作品。タイトルは「深海魚つれたー！」です。

これはフジクジラというカラスザメの仲間です。主に海底近くに生息しており、おなか周りにたくさんの発光器官があります。

珍しい深海魚に出会えた喜びが伝わってくる写真だと思います。お兄さんが釣ったそうで、海斗さんは、次は「自分で釣りたい」とコメントしています。

（文責 事務局長 渋谷）